業界の声

◎協同組合国母工業団地工業会
理事長　埴原 甲二氏

業界の現況は？

本組合は、昭和53年に設立され、甲府市・昭和町・中央市に跨がる工業団地となっています。組合は27社で構成されており、製造業・物流業・医療関係・木材関係等の異業種が集まっています。工業団地から撤退した企業もありましたが、甲府昭和ＩＣや甲府南ＩＣが近いという利便性があることから、新規企業の参入により組合員総数においては、変わっていません。

工業団地入居企業の売上は、平成22年をピークに、それ以降、リーマンショックによる円高の影響や東日本大震災以降の電気代の値上げの影響を受け、受注は減少傾向となりました。近年では、一時的に減少していた受注も回復してきています。

雇用状況も、平成21年に一部組合員企業が県外事業所を移転統合したことにより雇用総数が増加しました。

その他、本組合では教育情報事業として、甲府市との意見交換会や組合員企業の相互視察研修、情報交換会等の開催を実施しています。また、環境整備事業として団地内の桜並木の管理や緑のカーテンづくりを実施している他、福利厚生事業では、組合員企業対抗のソフトボール大会や駅伝大会を開催し、今年で39回となる夏まつりでは組合員各社が模擬店を出店し、地域の方々との交流も行っています。

今後の展開は？

工業団地では異業種の企業が組合員となっているため、団地内にある業種によって違いがありますが、アベノミクス効果や円安傾向により景気回復も見込まれ、売上面や雇用面においても回復を期待しています。

また、本組合は、異業種企業が多いため共通の課題を設定することは難しいですが、今後も教育情報事業や福利厚生事業を通じての組合員間の情報交換や交流を図っていくとともに、環境整備事業を通じて「日本で一番きれいな工業団地」を目指し活動していきたいと考えています。

空から見る「国母工業団地」